



福島県庁前で環境放射線測定の実験活動を行う
福井県のモニタリングカー

福島第一原子力発電所の原子力災害に係る福井県の対応

県内原子力発電所の安全を確保します

東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した原子力災害は、放射性物質が外部に漏れたことにより、住民の被ばくや農作物の汚染など周辺環境に重大な被害を与えています。その主な原因は、地震と津波により、外部からの電源が失われ、非常用ディーゼル発電機を冷却するための海水ポンプ等も機能しなかったためと考えられます。県では、県内の原子力発電所がこうした事態に陥ることがないように、国や事業者に対し、原子力発電所の安全機能のさらなる向上を強く求めています。

いち早く事業者トップへ要請

3月12日

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構の社長、理事長に、各プラントの安全確保体制の強化と安全管理に万全を期すよう要請

3月13日

3事業者の現地事業本部長などに、冷却系システムの確認や検証などを要請

3月20日

関西電力(株)社長に要請

- 県民の安全・安心を早期に確保するための積極的な投資
- 海水ポンプの地震、津波対策の強化
- 使用済燃料プールの冷却機能の強化
- アクセス道路整備への協力
- 電源喪失などシビアアクシデントに対する訓練 など

3月25日

日本原子力発電(株)副社長に要請

- 送電系統や冷却システムのさらなる多重化
- 原子力災害の原因究明の進展に伴う新たな知見の適切な反映 など

国の責任ある早急な対応を要請

3月17日

中山義活経済産業大臣政務官に緊急要請

(要請内容)

- ①原子力災害の早期収束と情報公開の徹底
- ②原子力災害発生の原因究明と安全確保対策
- ③原子力防災対策の充実
- ④耐震安全性の向上
- ⑤原子力防災道路の早期整備

3月23日

清水潔文部科学省事務次官に、「もんじゅ」の安全確保、環境放射能調査体制の強化、日本海側における地震、津波の発生解明について要請

(要請内容)

- ①シビアアクシデントへの対応
- ②炉内中継装置の早期復旧
- ③安全システムの一層の多重化
- ④初動体制時のバックアップ機能の強化

県原子力安全専門委員会が現地調査・審議

関西電力(株)美浜発電所の非常用ディーゼル発電機を調査する県原子力安全専門委員会の委員(3月14日)



3月14日

県原子力安全専門委員会は、福島第一原子力発電所の電源喪失の原因と想定される海水冷却ポンプや非常用ディーゼル発電機の状況などについて、日本原子力発電(株)敦賀発電所と関西電力(株)美浜発電所を現地調査し、16日に「安全性の信頼回復には、安全システムの一層の多様化が必要」と県に報告

3月25日

今回の地震発生メカニズムや日本海側における地震・津波の知見について審議

安全対策の実施状況の検証

4月1日

県は4月1日、事業者の安全対策が確実に実施されているかどうかについて厳正にチェックするため、県原子力安全専門委員会と合同で「安全対策検証委員会」を設置



第1回安全対策検証委員会

事業者の取り組み

県の要請を受けて事業者は、非常用発電機の設置や送電線の強化など、徹底的な安全確保対策のため最優先に予算を確保し、早急に実施することを表明しました。

①電源確保の対策

- 移動式や空冷式の非常用発電機を設置
- 送電鉄塔の強化と送電系統の多重化

②冷やす機能を強化

- 海水を取り入れるポンプの津波対策を強化（防水壁の設置）
- 外部電源喪失時に非常用ディーゼル発電機を冷却するための移動式ポンプを設置

③特別検査を実施

- 緊急に炉心を冷却する設備が健全に動くことを確認
- 使用済燃料プールの冷却ポンプを点検

④その他

- 全電源喪失時など万一の場合に備えた対応訓練を実施
- 発電所周辺の防災道路整備への協力

県民の皆様への広報

各事業者は、安全対策の方針・実施状況を新聞やホームページなどを通じ、広く県民の皆様にお知らせしています。

各社の
ホームページは
こちら。

関西電力㈱

日本原子力発電㈱

日本原子力研究開発機構

<http://www.kepcoco.jp/>

<http://www.japcco.jp/>

<http://www.jaea.go.jp/04/turuga/>

県内の放射線を測定

福井県では、県原子力環境監視センターや事業者が24時間連続して原子力発電所周辺の放射線の量や放射能の濃度を絶えず測定し監視しています。

これまで(4月6日現在)の測定結果では、福井県内における空間放射線量率は、平常時の変動範囲内で異常は認められていません。環境放射能の測定として、福井市で採取した大気浮遊じんと、敦賀市で採取した大気中ヨウ素で、放射性ヨウ素が検出されましたが、その量はごく微量で、環境安全上問題はなく健康への影響はありません。



環境の放射線量を測定する県の観測局



空間放射線量の測定器



雨水・ちりを採取して、放射能濃度を測定

測定結果は福井県原子力環境監視センターのホームページで公開しています。

県原子力環境監視センター

<http://www.houshasen.tsuruga.fukui.jp/>

放射線Q&A

「放射線」や「放射性物質」、「放射能」ってよく聞くけど、違いってなに？



レントゲン検査で使うX線のように、目には見えないけれど、物を通り抜ける能力があるエネルギーを「放射線」といい、いろいろな種類があります。また、「放射線」を出す物質を「放射性物質」といい、放射線を出す能力を「放射能」といいます。

